日刊工業新聞2012年2月23日（木）

うつ病対策促進

企業向け 予防研修を公的認定

職業技能振興会

職業技能振興会（東京都渋谷区、兵頭大輔理事長、03・3353・9181）は、ヒューマンリソースマネージメント（東京都品川区）の企業向けうつ病予防研修を公的研修に認定した。23日に正式発表する。同振興会がメンタルヘルス対策の研修を認定するのは今回が初。同振興会の資格制度「ケアストレスカウンセラー」の有資格者をヒューマンリソースマネージメントが実施する研修に講師として派遣する。初年度は200社、1万5400人の受講を目指す。

3月2日から実施し、研修受講者には職業技能振興会から修了証を発行する。受講企業は、修了証をメンタルヘルス対策済みの証明に使える。

研修は管理職向けと従業員向けの2種類で、従業員がうつ病にならないための環境作りや心掛けなどの知識やノウハウを学ぶ。受講料は2日間の研修で一人当たり2万3000円。複数人受講の場合は、助成金の活用相談を受け付ける。対象は中堅・中小企業やベンチャー企業で業種は問わない。

職業技能振興会は厚生労働省認可の財団法人で、ケアストレスカウンセラーの有資格者は約4000人。

厚労省では、事業者が労働者に対してメンタルヘルスケアの推進に関する教育や情報提供が重要との方針を2006年に示しており、産業界各社では自主的にメンタルヘルスケアに取り組んでいる。